

海洋立国懇話会「研究会セミナー」（開催概要記録）

	開催日	講師・テーマ・概要
第11回	2019年8月21日	国立科学博物館 人類研究部人類史研究グループ長 海部 陽介 氏 テーマ：「3万年前の航海 徹底再現プロジェクト」 ＊「海の歴史と文化研究会」 概要：3万年前の旧石器人が丸木舟で台湾から与邦国島へ渡航してきたかどうか、再現プロジェクト（実験航海）を行い成功。
第10回	2019年2月8日	インマルサット株式会社 技術顧問 移動体衛星通信協議会 代表幹事 長谷 良裕 氏 テーマ：「海運業界における衛星通信の将来展望」 ＊「海事・海洋産業の活性化」 概要：海事衛星通信の現状と課題並びに海事IoT化へ向けた衛星通信との関係、及び将来の展望。
第9回	2019年1月17日	株式会社IHI 技術開発本部 総合開発センター機械技術開発部 海洋技術グループ部長 長屋 茂樹 氏 テーマ：「水中浮遊式海流発電システムの開発と実海域実証試験」 ＊「海事・海洋産業の活性化」 概要：黒潮の流れを利用した水中浮遊式発電機による発電についての実証試験の結果、及び今後の予定。
第8回	2018年12月19日	ジャパンマリンユナイテッド（JMU）株式会社 顧問 太田垣 由夫 氏（前同社代表取締役副社長） テーマ：「海洋資源開発と技術者育成－モノづくり企業JMUから見た日本の海洋開発の姿、産官学連携のあり様、技術者育成の実際－」 ＊「海事・海洋産業の活性化」 概要：海洋資源開発における産官学の連携並びに産官の取り組みの現状、及び海洋資源開発産業化と海洋人材育成への道筋。
第7回	2018年10月3日	東京海洋大学教授 岩坂 直人 氏 テーマ：「昨今の異常気象と海洋」 ＊「海洋国家日本のあり方研究会」 概要：海面温度が豪雨・猛暑・台風・エルニーニョの発生に密接に関係する等、海洋と異常気象との関係。
第6回	2018年9月6日	桑江 朝比呂 氏（ブルーカーボン（海を舞台としたCO2削減）研究の第一人者） テーマ：「海洋環境問題－コンブを利用したブルーカーボン（海を舞台としたCO2削減）－」 ＊「海事・海洋産業の活性化」 概要：気候変動対策と海の豊かさを守ることに関連する国内外の事例と課題、及びコンブなど海の生態系を利用したCO2削減。
第5回	2018年6月20日	東海大学海洋学部教授 山田 吉彦 氏 テーマ：「海洋国家日本のゆくすえ」 ＊「海洋国家日本のあり方研究会」 概要：
第4回	2018年4月24日	NPO海ロマン21理事 井上 興治 氏（元運輸省技術総括審議官） テーマ：「海洋国日本に相応しい海洋深層水の利用促進」 ＊「海事・海洋産業の活性化」 概要：海洋国家として、貴重な海洋資源である海洋深層水を利用して海洋温度差発電を促進していくことの必要性。
第3回	2018年3月14日	元海上自衛隊海将補・第一術科学学長、本懇話会会員 上田 愛生（うえだ・ちかお） 氏 テーマ：「新海洋国家日本論」－海洋国家日本のありかたについて－ ＊「海洋国家日本のあり方研究会」 概要：世界の歴史や現在の日本の状況を踏まえ、旧海洋国家とは違う新たな海洋国家の考え方を展開。
第2回	2017年9月11日	東京海洋大学名誉教授・国土交通省運輸安全委員会委員 庄司 邦昭 氏 テーマ：「国内外の海事博物館」 第133回海洋立国懇話会・海事振興連盟勉強会と共催 ＊「海の歴史と文化研究会」 概要：世界の主要各国の様々な海事博物館の紹介、及び日本の海事博物館の現状に対する感想等。
第1回	2017年2月17日	テーマ：「里海イニシアティブ「横浜」」 ＊「海とまちとの連携研究会」 概要：海洋都市横浜のまちづくりを掲げる横浜市による、海とまちとの連携を図るための取組状況。